

部局経営方針（平成17年度振り返り報告シート）

部局名	教育部		部局長名	川畑 国敏		
①部局の使命	<p>教育部では、これまで、それぞれの地域で育まれてきた豊かな自然や伝統文化を尊重しながら、新たな薩摩川内市としての一体感のある教育・文化・スポーツの振興を図ります。</p> <p>更に、「地域の特色を活かした教育・文化のまちづくり」を教育目標として、主体性・創造性・国際性を備え、人間性豊かでたくましく生きる市民の育成をめざして、活力のある教育を推進します。</p> <p>その推進に当たっては、「まちづくりの原点は人づくりである」との生涯学習の観点に立ち、学校・家庭・地域の協働による心豊かな人間性を育む「薩摩川内らしい教育」づくりに努めます。</p>					
②経営資源	予算	当初 約47億円				
	構成 人員 (人)		本庁	支所	計	
		職員	110	125	235	
		嘱託員	30	70	100	
計		140	195	335		
③現状認識及び 中期展望	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少子・高齢化、高度情報化や国際化が一層進展し、住民ニーズの多種多様化など社会情勢の急激な変化を背景に、学校内外での事件や事故、問題行動の低年齢化など教育を取り巻く環境が大きく変化しているため、「安心安全な学校づくり」に努める必要があります。 ○ これまで、それぞれの地域で育まれてきた豊かな自然や伝統文化を尊重しながら、新たな薩摩川内市としての一体感のある教育・文化・スポーツの振興を図る必要があります。 ○ 「まちづくりの原点は人づくりである」との観点に立ち、学校・家庭・地域の協働による心豊かな人間性を育む生涯学習の推進に努める必要があります。 ○ 各地域との交流学習やふるさと教育など「薩摩川内らしい教育」の推進に努める必要があります。 					
④今年度の部局目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設の整備充実に努めます。 ○ 薩摩川内市教育委員会教育推進計画（仮称）の策定研究に努めます。 ○ 地域間交流学習やふるさと教育に努めます。 ○ 安心安全な学校づくりに努めます。 ○ 心の教育と学力向上対策に努めます。 ○ 生涯学習の推進及び組織整備に努めます。 ○ 青少年の海外派遣及び国内派遣体験活動に努めます。 ○ 薩摩川内市子ども読書活動推進計画に沿った読書活動に努めます。 ○ 地域の特色を活かした文化のまちづくりに努めます。 ○ 文化財保護の充実及び文化財の活用に努めます。 ○ 市民交流及び地域の特色を活かしたスポーツ大会の実施に努めます。 					

<p>④今年度の部局目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康スポーツ及び生涯スポーツの振興に努めます。 ○ 県民体育大会川薩大会の取り組みに努めます。 ○ 少年自然の家の特色を活かした体験活動に努めます。 ○ 栄養豊かで安心安全なおいしい学校給食の供給に努めます。 ○ 学校給食センターの総合的な調整に努めます。
<p>⑤目標設定の理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎学力の向上を目指しつつ、児童・生徒一人ひとりが安心して個性と多様な能力を伸ばすには教育環境の整備が重要であることから、校舎や体育館等教育施設を整備する必要があります。 ○ 薩摩川内らしい教育を進めるためには、地域間交流学习やふるさと教育を進める必要があります。 ○ 子どもたちの特性と多様な能力を伸ばすためには、国内外での体験学習をさせる必要があります。 ○ 国語をはじめ、各学力の基礎となる読解力を身につけ、豊かな心を醸成させるためには、読書活動を推進する必要があります。 ○ 市民が「いつでも、どこでも、誰でも、何でも」学習できる生涯学習づくりが必要であります。 ○ それぞれの地域に根ざした伝統芸能、文化の保存・継承を図る必要があります。 ○ それぞれの地域が一体となった新たな文化の創造を図る必要があります。 ○ 市民みんなが生涯にわたり、元気でスポーツに親しむことができるよう、健康スポーツや生涯スポーツの振興を図る必要があります。
<p>⑥ 目標達成に向けての手段・方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別教室新增改築事業（滄浪小）（H17） ・ 大規模改造事業（可愛小，大裏小，海星小）（H17，ただし，可愛小はH16～） ・ 屋内運動場新增改築事業（高来小）（H17） ○ 地域間交流学习及びふるさと教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 甌島区域の学校と本土区域の学校との交流学习（H17～） ・ 新市交流「春夏秋冬」事業（H17～） ・ 特認校制度拡充の検討，実施 ・ ふるさと教育の充実 ○ 安心安全な学校づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校内外での安全点検 ・ 学校，家庭，地域（地区コミュニティ協議会）との連携（H17～） ○ 心の教育と学力向上対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 心の教室相談員配置事業 ・ スクールカウンセラー配置事業 ・ 標準学力検査等結果分析に基づく学力向上（H17～） ・ 学力向上フロンティア事業 ○ 生涯学習推進及び組織整備

⑥ 目標達成に向けて
の手段・方策

- ・ 生涯学習推進本部体制の整備 (H17～)
- ・ 生涯学習センターサポート事業 (H17～)
- ・ 教育支所生涯学習センター内各課の支所内移管 (H17～)
- 青少年の海外派遣及び国内派遣体験活動
 - ・ 青少年海外派遣事業 (H17～)
 - ・ 青少年フレッシュ体験事業 (H17～)
- 薩摩川内市子ども読書活動推進計画に沿った読書活動
 - ・ 親子読書会, 読書グループの育成
 - ・ 移動図書館の充実 (H17)
 - ・ ブックスタート事業 (H17～)
- 地域の特色を活かした文化のまちづくり
 - ・ 薩摩国分寺跡史跡公園活用事業
 - ・ 川内まごころ映画祭
 - ・ トンボロ芸術村事業
 - ・ 薩摩川内ふるさと軸交流事業 (H17～)
- 芸術鑑賞事業の充実
 - ・ 小中学校芸術演劇鑑賞事業 (H17)
 - ・ 現代アート・世界児童画巡回展
- 川内歴史資料館, 川内まごころ文学館利用者増対策
 - ・ 企画展・講演会の開催
 - ・ まごころ文学館友の会の設置 (H17)
- 文化財保護の充実及び文化財の活用
 - ・ 入来麓伝統的建造物群保存地区保存修理事業 (H16～)
 - ・ 史跡清色城跡用地取得事業 (H16～)
- 市民交流及び地域の特色を活かしたスポーツ大会の実施
 - ・ 薩摩川内市民運動会 (H17. 10. 9)
 - ・ ブロック・地区コミ対抗 (婦人バレーボール, 成人男子ソフトボール, 綱引) 競技大会
 - ・ 婦人ホッケー大会・ホッケー祭り
 - ・ 一輪車競技大会
 - ・ かのこロードレース大会
- 健康スポーツ及び生涯スポーツの充実
 - ・ 高齢者健康スポーツ事業 (貯筋クラブ, おたっしや倶楽部)
 - ・ 川内スポーツクラブO1, ひわきコミュニティスポーツクラブ
- 県民体育大会川薩大会の取り組み
 - ・ 開催に向けての準備委員会の設置 (H17)
- 少年自然の家キャンプの森整備
 - ・ キャンプテントサイト台座, 陶芸窯, 野外宿泊施設 (H17)
- 少年自然の家の特色を活かした体験活動の実施
 - ・ てらやまんちフェスタ (H17)
 - ・ 夏及び冬のアドベンチャー (H17)
 - ・ 星空コンサート (H17)

<p>⑥ 目標達成に向けて の手段・方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食センターの総合調整 <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営形態，地理的条件等考慮した調整（H17～） ・ 民間委託化の検討，実施（H17～）
<p>⑦上半期の具体的な取組 の経過・実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設の整備充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別教室新增改築 滄浪小（施工中） ・ 大規模改造 可愛小・大妻小（完成），海星中（施工中） ・ 屋内運動場新增改築 高来小（施工中） ○ 甌島区域の学校と本土区域の学校が，テレビ会議システムや集団宿泊活動（少年自然の家）等とおして，学校間の交流を深めることができた。 ○ 東郷・樋脇地域の特認校に，川内地域からも通学できるよう特認校制度を拡充した。 ○ 中・小学校の連携を図り，中・小一体となった教育活動を推進してきた。 ○ 市内全小・中学校63校で，防空壕をはじめ危険が予想される箇所を調査し，校区安全マップを作成し活用している。 ○ 新生涯学習推進体制の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ・ 新体制について，調整会議にて審議・調整中 ○ 生涯学習機会を総合的に提供するため生涯学習サポート事業による調査・研究の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員15名を委嘱 検討会 5回開催 ○ 青少年交流事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年フレッシュ体験事業 <ul style="list-style-type: none"> 8月16日～8月20日 長野県信州新町 31名参加 12月23日～12月27日 北海道二セコ町 30名募集予定 ・ 青少年「春夏秋冬」事業 <ul style="list-style-type: none"> 応募総数 14件 採用件数 6件 ・ 青少年海外派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> 中学生7名を夏休中の約1月間米国カリフォルニア州へ派遣 ○ 地域の特色を活かした文化のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ 薩摩川内まごころ映画祭を川内地区，里地区で実施した。 ・ トンボロ芸術村事業で「写真」「絵画」「俳句」フォーラムとそれぞれの現場撮影会等を実施した。 ○ 文化財保護の充実及び文化財の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 薩摩街道保存会と薩摩街道保存・活用に向け九州各地の街道保存会などを研修視察。 ・ 入来麓伝統的建造物群保存地区の特定物件修理事業進行中。 ・ 史跡清色城跡用地の買収を年次計画によって進行中。 ○ 川内歴史資料館，川内まごころ文学館利用者増対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏の特別展・講演会，各種講座を実施した。 ○ 市民交流及び地域の特色を活かしたスポーツ大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域対抗婦人バレーボール大会を7月9日実施した

⑦上半期の具体的な取組
の経過・実績

- 14地域から17チーム参加
- ・地区コミ対抗綱引大会を8月28日実施した
25地区から男女44チーム参加
- ・樋脇ホッケー祭を9月4日実施した(300名)
- 健康スポーツ及び生涯スポーツの充実
- ・おたっしやクラブの実施(総合体育館)
4月18日～7月4日 20名
7月11日～9月26日 20名
- ・貯筋クラブの実施(各地区に出前)
5月9日～7月11日(永利33名)
6月8日～3月22日(入来36名)
9月5日～11月10日(隈之城38名)
- ・樋脇ウォータークラブ
8月19日～9月13日(樋脇B\$G14名)
- ・生涯スポーツへの取り組み
スポーツクラブ01の充実 会員1、110
樋脇コミュニティクラブの充実 会員 200
- 県民体育大会川薩大会への取り組み
- ・準備委員会総会を8月18日に開催し設立がなされた
- ・本年度開催地(鹿屋市)を9月16日に関係者で視察
- アウトソーシング計画により各地域の学校長及びPTA代表に、給食センターの機能統合・一部委託について説明会を実施
- 少年自然の家キャンプの森整備事業の推進
- ・キャンプテントサイト台座, 陶芸窯, 炭焼き窯, 野外宿泊施設の設計業務委託について, 関係課等と協議を行った。
- 少年自然の家の特色を活かした体験活動の実施
- ・てらやまんちフェスタIでの施設開放により, 新築の「ふれあい工房」等の活用がなされ, 当施設への理解が深まった。
- ・夏のアドベンチャー「薩摩川内ぼっけもんの旅」を実施し, 甑島の大自然の中で, 冒険心・協調性等を培い青少年の健全育成を図った。
- ・星空コンサートを実施し, 各地域の出演グループが魅力的な演奏を披露した。市民に憩いと文化の香りを提供する機会となった。
- 親子読書会・読書グループの育成
7/16 読書グループ等連絡会を開催(40名の参加)
各グループの活動状況の報告や意見交換等を実施
- 移動図書館の充実
5月からは, 2台体制から3台体制で巡回実施
ステーション数 本土地域49カ所から80カ所
甑島地域15カ所から27カ所
- ブックスタート事業 4月から9地域で実施
本土地域 469人へ配布 甑島地域 11人へ配布

⑧下半期の取組の方向性、目標達成に向けた課題や問題点、見直し内容

- 学校施設の整備充実
緊急性を勘案し小規模な修繕等を順次施工するとともに、今後の大規模改造・新增改築の長期整備計画の策定準備を行う。
- 薩摩川内市として一体感のある教育を推進するため、来年度に向けてビジョンを明確にし、これまでの事業を推進・充実していく。
- 総合行政として生涯学習をいかに位置づけするか。
- 支所機能の再構築
- 各種芸術文化事業の参加者、鑑賞者等のさらなる増加対策としての広報活動の強化。
- 各種芸術文化事業に対する後援依頼、友の会設置に向けての研究。
- 市民交流及び地域の特色を活かしたスポーツ大会の実施
 - ・市民運動会を10月9日に実施
 - ・男子ソフトボール大会を10月22日～23日実施
 - ・一輪車競技大会を10月22日東郷グラウンドで実施
 - ・1月29日かのこロードレースを実施
- 健康スポーツ及び生涯スポーツの充実
 - ・おたっしやクラブ第3回目を10月17日から実施
- 県民体育大会川薩大会の取り組み
 - ・事務局を充実し、地区準備委員会と連携していく。
- 方針決定に伴い、各地域の学校・保護者、関係機関・団体等に施設の機能統合及び一部委託の説明会を実施し、給食センターの機能統合等の実施推進を図る
 - ・施設・設備及び機器等の整備計画及び予算作成
- 少年自然の家キャンプの森整備事業の推進
 - ・研修活動に支障のないよう関係者との協議調整によりテントサイト台座、陶芸窯、炭焼き窯の工事着手・完成及び野外宿泊施設の工事着手・一部完成に取り組む。
- てらやまんちフェスタⅡ（2月）の実施に向けて、多くの市民が参加できる準備態勢の充実を図る。
- 冬のアドベンチャー「薩摩川内ぼっけもんの挑戦」事業の活動場所・内容等の検討と安全対策の計画を作成する。
- 薩摩川内市子ども読書活動推進計画に添った読書活動
 - ・親子読書会・読書グループの育成
読書活動推進大会に向け読書グループ等連絡会を開催しながら育成に努める。
 - ・移動図書館の充実
現体制でサービスの充実に努めていく。
 - ・3ブックスタート事業
各地域の検診会場で読み聞かせをしながら絵本の配布を実施

⑨下半期及び年間を
通して具体的な
取組の経過・実績

【教育総務課】

○平成17年度に予定していた学校施設の整備については、繰越事業を除き計画どおり完了済み。なお、18年度に施設の基本調査と耐震化優先度調査を実施し、その結果を踏まえ長期整備方針を策定する予定。

【学校教育課】

○甌島区域の学校と本土区域の学校が、テレビ会議システムや集団宿泊活動等をとおして、学校間の交流を深めることができた。

○特認校制度において、川内地域から東郷・樋脇地域の特認校に通学できるよう制度の拡充を行った。

○小・中学校の連携を図り、小・中一体となった教育活動を推進した。

【生涯学習課】

○生涯学習推進体制のあり方を研究するため生涯学習センターサポート方策検討調査を実施し、市民の意識ニーズの調査、本市の取組みの現状把握、課題の抽出等を行った。

○地域の特性を活かした公民館講座のあり方を研究した。

○青少年健全育成を図るため、関係機関との連携の充実や諸取り組みの検討を行った。

○青少年交流事業のあり方の研究・検討を行った。

【文化課】

○年間を通して計画通り実施できた。

○文化財保護の充実及び活用で「入来麓伝統的建造物群保存地区」の特定物件の修理、史跡清色城跡用地買収事業および薩摩国分寺跡史跡公園を活用した郷土芸能等の発表などを計画通り執行した。

○小中学生対象の芸術鑑賞事業を実施した。

○まごころ文学館の友の会設置については、検討した結果課題もあるため次年度以降に継続とした。

【市民スポーツ課】

○第1回市民運動会の開催

10月9日(日)15地域対抗による採点競技や児童生徒一般参加による自由種目および集団演技等で約7000名が参加した。

○男子ソフトボール大会を10月22日～23日実施

14地域参加

○一輪車競技大会を10月22日東郷で実施 小学生187名参加
東郷地域以外から54人参加

○かのこロードレース大会を1月29日実施 167名参加

○おたっしやクラブ第3回目を実施

10月13日～12月26日 21名

○貯金クラブ 1月16日～3月16日 30名(八幡地区)

○県民体育大会への取組み 10月1日事務局専任職員を配置

【学校給食課】

○アウトソーシング方針に基づき、全地域で説明会を実施し、祁答院地域以外は理解が得られたところである。

⑨下半期及び年間を
通して具体的な
取組の経過・実績

○祁答院地域については,再度説明会等を開催し,調整する必要がある。
○給食費・食材購入の一元化については,補助金の見直しを含め具体的試算による検討を行った。

【少年自然の家】

○少年自然の家キャンプの森整備事業の推進
テントサイト台座,陶芸窯,炭焼き窯,野外宿泊施設建設工事を完了した。

○てらやまんちフェスタⅡの実施

2月5日(日) 参加者 2,758人

○冬のアドベンチャー「薩摩川内ぼっけもんの挑戦」の実施

12月23日(金)～25日(日) 48人(小学校5年生以上)

年間を通しての取組み

○キャンプの森整備事業の推進

テントサイト台座,陶芸窯,炭焼き窯,野外宿泊施設の建設工事を関係課との協議調整により,年度内に完成した。

○てらやまんちフェスタⅠ・Ⅱは,天候にも恵まれ,施設開放により多くの市民の参加があった。

フェスタⅠ(2,052人),フェスタⅡ(2,758人)

○アドベンチャー事業の実施により,青少年の健全育成を図った。

夏のアドベンチャー事業(上甑・中甑での自転車の旅)

冬のアドベンチャー事業(冬の紫尾山麓でのキャンプ・登頂)

○施設利用者の確保

市民に親しまれる「てらやまんち」をめざした。

研修延べ人数 36,088人(前年度比 3,359人増)

【中央図書館】

○親子読書会・読書グループの育成

7/16 読書グループ等連絡会を開催(40名の参加)

各グループの活動状況の報告や意見交換等を実施

10/29 読書グループ等連絡会を開催(21名の参加)

各グループの活動状況の報告や意見交換等を実施

読書活動推進大会実演グループの選出

○移動図書館の充実

5月からは,2台体制から3台体制で巡回実施

ステーション数 本土地域49カ所から80カ所

年間 貸出人数 27,310人 貸出冊数 82,067冊

甑島地域15カ所から27カ所

年間 貸出人数 1,427人 貸出冊数 4,501冊

○ブックスタート事業 4月から9地域で実施

本土地域で年間861人へ配布

甑島地域で年間 44人へ配布

作成基準日:平成18年3月31日